

## 結果概要

実施時期	2019年 7月10日（水）～ 8月9日（金）	
公表内容	提出人数	<b>430名</b> 〔団体含む〕
	意見件数	<b>1,599件</b> （内訳…公表可：1,445件、公表不可：154件）
	意見の種類	195種類

## 主な意見等

1.大阪の現状と取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新のデータに置き換えるべき</li> <li>カジノ、I Rの誘致、大阪 I R 基本構想（案）に反対</li> </ul>
2.大阪IRのめざす姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設・サービスは時間とともに陳腐化するため、常に新しい施設・サービスのリニューアルが必要</li> <li>送客が効果的に機能しているかを定期的にレビューし、必要に応じて改善を求める体制も整備すべき</li> <li>想定事業モデル、経済効果試算、雇用創出効果の前提条件や計算に使用した数値を公表すべき</li> <li>ギャンブル依存症、治安・地域風俗の悪化、青少年への悪影響、景観・騒音被害などの社会的コストを公表すべき</li> </ul>
3.懸念事項と最小化への取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギャンブル等依存症対策の効果を把握するために、目標を定量的に示すべき</li> <li>啓発事業や専門治療部門の設置など、ギャンブル等依存症対策にかかる必要経費を示すべき</li> </ul>
4.IR立地による効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>納付金は、大阪・関西の観光・文化振興や人材育成、観光インフラ等の整備に使うべき</li> <li>IR内で需要が完結し周困への経済効果は限定的になるなど、I R は経済効果がない</li> </ul>
5.地域の合意形成に向けた理解促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を工夫するなど、理解促進のために積極的な周知を図るべき</li> <li>自治体から住民への一方的な情報伝達だけでなく、住民の意思の把握のため、意見聴取を行うことが必要</li> </ul>
6.スケジュール等	<ul style="list-style-type: none"> <li>IR開発に必要な手続き（環境アセスメント等）は、行政が全面的にバックアップし、早期の開業をめざすべき</li> <li>IR開業に向けたスケジュールは拙速とならないように十分な期間をとるべき</li> </ul>